

2040年を見据えた中山間地域等の
くらしを支える地域包括ケアを考える
～自治体の取組み事例から考える持続可能な地域づくりセミナー～

岡山県新見市



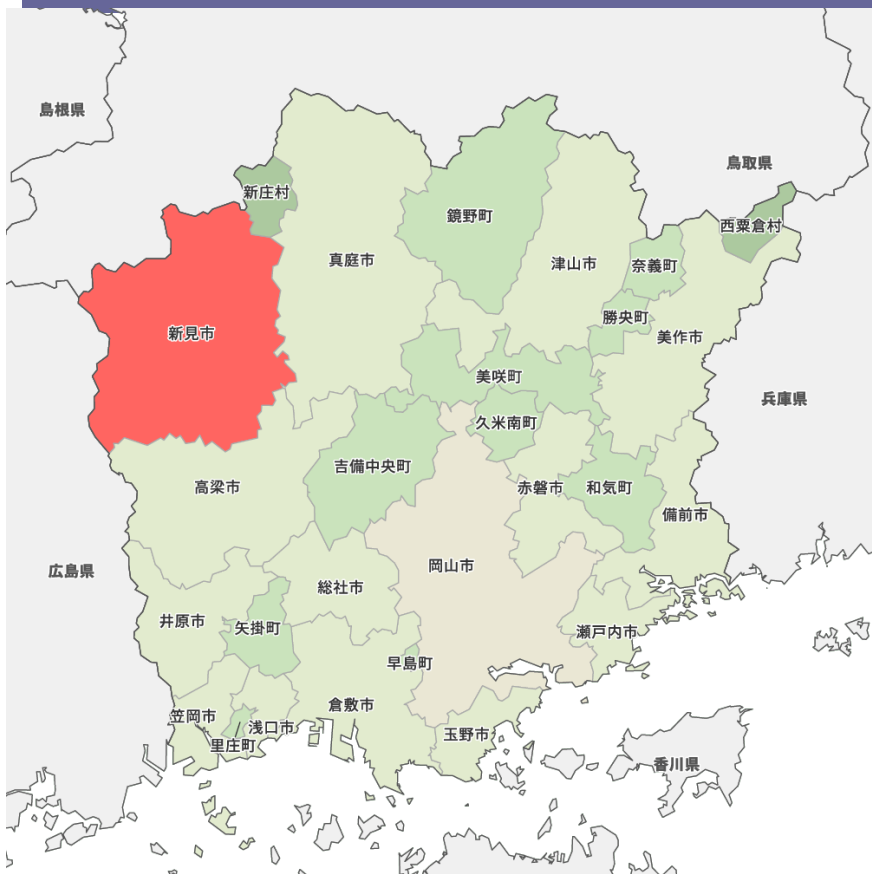
新見市役所 健康福祉部
福祉課 福祉政策推進室 榎本 裕
高齢者支援課 地域包括支援センター 安達彩永



本日のお話

1. 地域の特徴
2. 「健康福祉のまちづくり」の推進体制
3. 人口減少・高齢化における課題と施策の内容
 - (1) 人口減少・高齢化における課題、基本的な問題意識
 - (2) 自治体で特に力を入れて取り組んでいる施策の内容
4. 医療・介護のサービス提供体制の維持・確保
 - (1) 日常生活圏域におけるサービス提供体制の確保に関する現状認識
 - (2) サービス提供体制の確保に関する取り組みと今後の課題
5. まとめ

1. 地域の特徴



平成17年3月31日、新見市と阿哲郡4町(大佐町・神郷町・哲多町・哲西町)が合併してできた「新見市」。

岡山県の西北端に位置し、東は真庭市、南は高梁市、北は鳥取県日野郡、西は広島県庄原市と接しています。

面積は793.29km²で県内2番目となっており、その中に約2.5万人の人が暮らしています。

中国山地の脊梁地帯に位置することから起伏の多い地形で、総面積の約87%を森林が占める高梁川源流域の自然豊かなまちです。

特産品は、千屋牛、ピオーネ、チョウザメ・キャビア、トマト、もも、リンドウ、ワイン、日本酒、紅茶などがある。

- 新見公立大学
学生数 約800人
- ・健康保育学科
 - ・看護学科
 - ・地域福祉学科



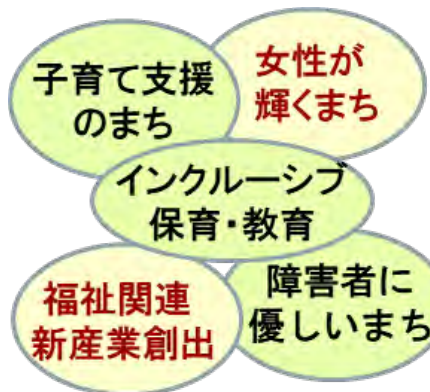
2. 「健康福祉のまちづくり」の推進体制

新見市地域共生社会推進本部

本部を設置し、公立大学を核とする産学官民連携による共生社会『新見モデル』の構築を進める。

①保健・医療・福祉・教育に関する課題、②人と資源が循環するまちづくりに関する課題への対応を協議し、大学生の力も活かしてまちづくりを推進する。

- ・岡山県 備中県民局
- ・岡山県 備北保健所
- ・新見医師会
- ・新見市社会福祉協議会
- ・保健医療関係者
- ・福祉事業者



岡山県健康の森学園支援学校
& 社会福祉法人健康の森学園

支援

支援

支援

地域運営組織

新見公立大学

(学生・教職員・学外専門家)

赤字は令和7年度からの新設の課室

新見市 (本部事務局) 本部長：副市長

福祉政策推進室

健康福祉部

総務部

市民生活部

産業部

建設部

教育部

教育連携推進課

3. 人口減少・高齢化における課題と施策の内容

(1) 人口減少・高齢化における課題、基本的な問題意識

○人口減少や少子高齢化が進行する中で、医療・介護等の複合的なニーズや複雑化するニーズに対する支援が求められている。これらの支援ニーズに対応するためには多くの福祉人材が必要となるが、人手不足により、需要と供給に大きなギャップが生じている。こうした中で、福祉サービスを持続可能なものとしていくため、効果的・効率的なサービス体制や、地域資源の活用について検討が求められている。

○今後、若年人口の減少が一層加速化し、高齢者人口も減少していく状況も踏まえ、将来的な福祉ニーズの変動も見据えつつ、多様なサービス提供体制を確立し、地域包括ケアシステムをさらに深化させていくことが課題となっている。

○本市は市域が793.29km²と広大で、その約86%が森林であり、急峻な地形に小さな集落が点在しているため、移動手段としては自家用車への依存度が極めて高い状態にある。高齢者や高校生など運転免許を持たない住民の移動手段を確保することが課題となっている。

3. 人口減少・高齢化における課題と施策の内容

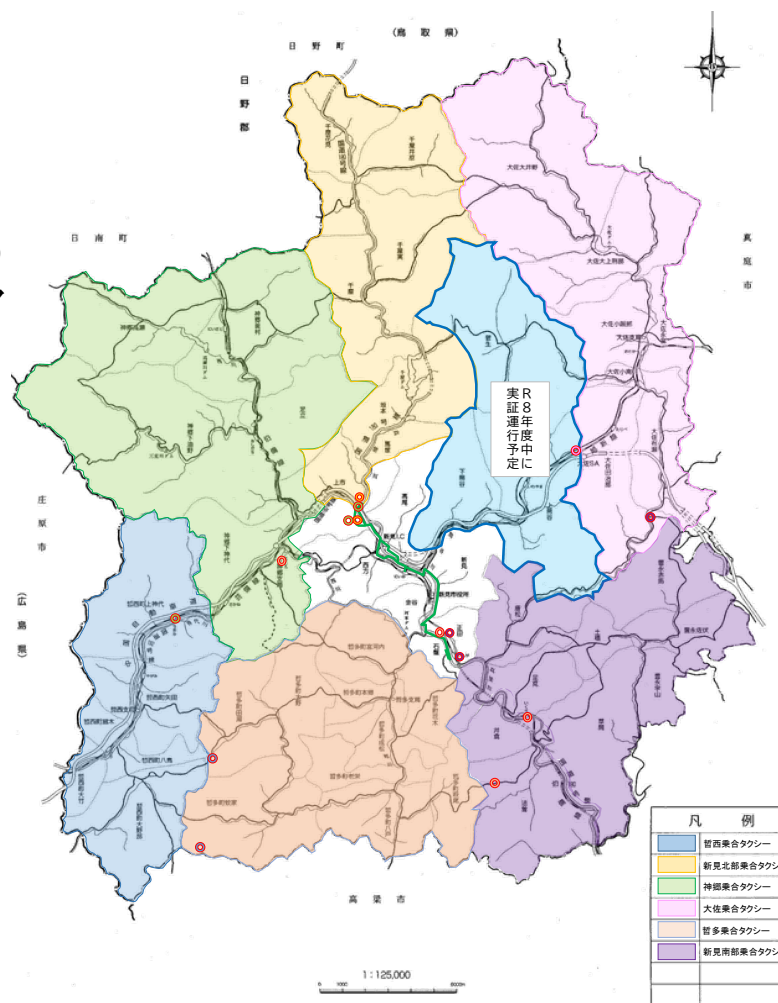
(2) 自治体で特に力を入れて取り組んでいる施策の内容

①交通関連の支援

○乗合タクシー

高齢者や高校生など運転免許を持たない人の移動手段の確保が重要な課題となっていることから、従来の路線バスからエリア型のデマンド交通である乗合タクシーへの転換を進めている。

- ・運行日:月曜日～金曜日
- ・運行時間:8:30～16:00
- ・運賃:1乗車300円


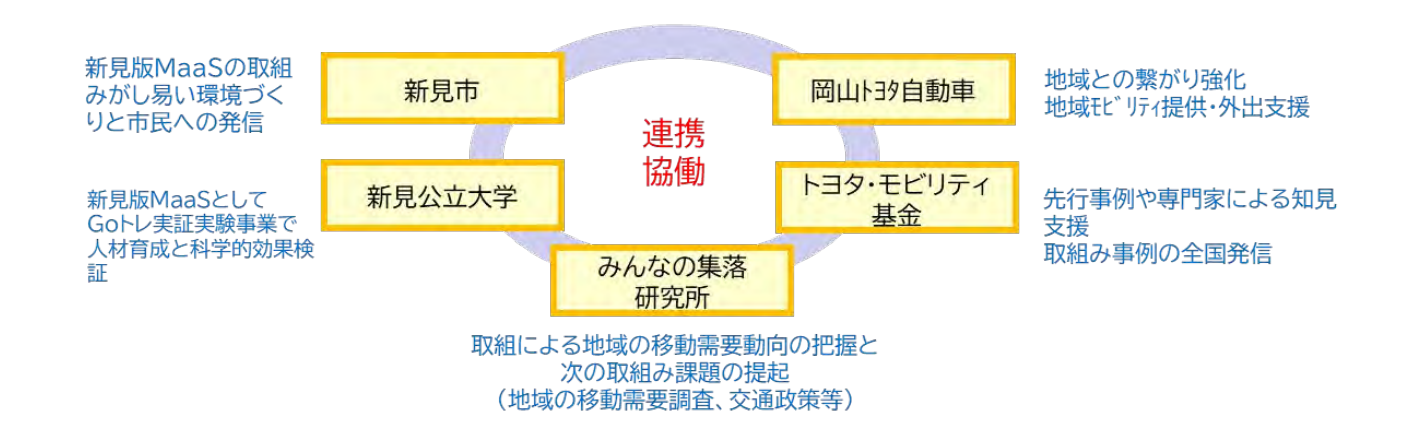


3. 人口減少・高齢化における課題と施策の内容

(2) 自治体で特に力を入れて取り組んでいる施策の内容

①交通関連の支援

○新見版MaaS

<p>目標</p>	<p>新見版MaaS(福祉×交通・移動支援ハイブリッド人材育成・開発及び新見版Goトレ)の実証実験を行い、効果を検証して取組が地域に定着するための戦略を立てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Goトレ実証実験の成功 <ul style="list-style-type: none"> -来年度以降、市内他地域での展開に資する知見蓄積 -新見版MaaSに関わるモビリティ人材(教職員・学生)の育成・派遣 -取組み効果の測定と検証(健康寿命・介護予防等) 	
<p>各施策と連携イメージ</p>	 <p>新見版MaaSの取組みがし易い環境づくりと市民への発信</p> <p>新見版MaaSとしてGoトレ実証実験事業で人材育成と科学的効果検証</p> <p>地域との繋がり強化 地域モビリティ提供・外出支援</p> <p>先行事例や専門家による知見支援 取組み事例の全国発信</p> <p>取組による地域の移動需要動向の把握と次の取組み課題の提起 (地域の移動需要調査、交通政策等)</p>	

3. 人口減少・高齢化における課題と施策の内容

(2) 自治体で特に力を入れて取り組んでいる施策の内容

②地域運営組織の活動支援

○「人口減少」、「少子高齢化」の抑制

行政も様々な対策に取り組めますが… 地域特有の課題 に対応するのは難しい。

○「人口減少」に備えたまちづくり

地域特有の課題を解決しながら、人口が減少しても持続可能な地域づくりを考えていく。

地域住民が「我が事」として参画し、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を創っていく全員参加型の社会をつくる。



新見市版地域共生社会構築計画を策定(平成30年10月)

- ▶人口が減少しても、少子高齢化が進んでも、「人と地域が元気なまち」を創る。
- ▶人と人がつながり、「地域活力と自治力」を取り戻す。

「小地域ケア会議」を開催して地域の課題や情報を集め、
様々な地域課題を「小規模多機能自治」の考えで解決していく！！

「自治」を行うためには、地域の代表機関が必要



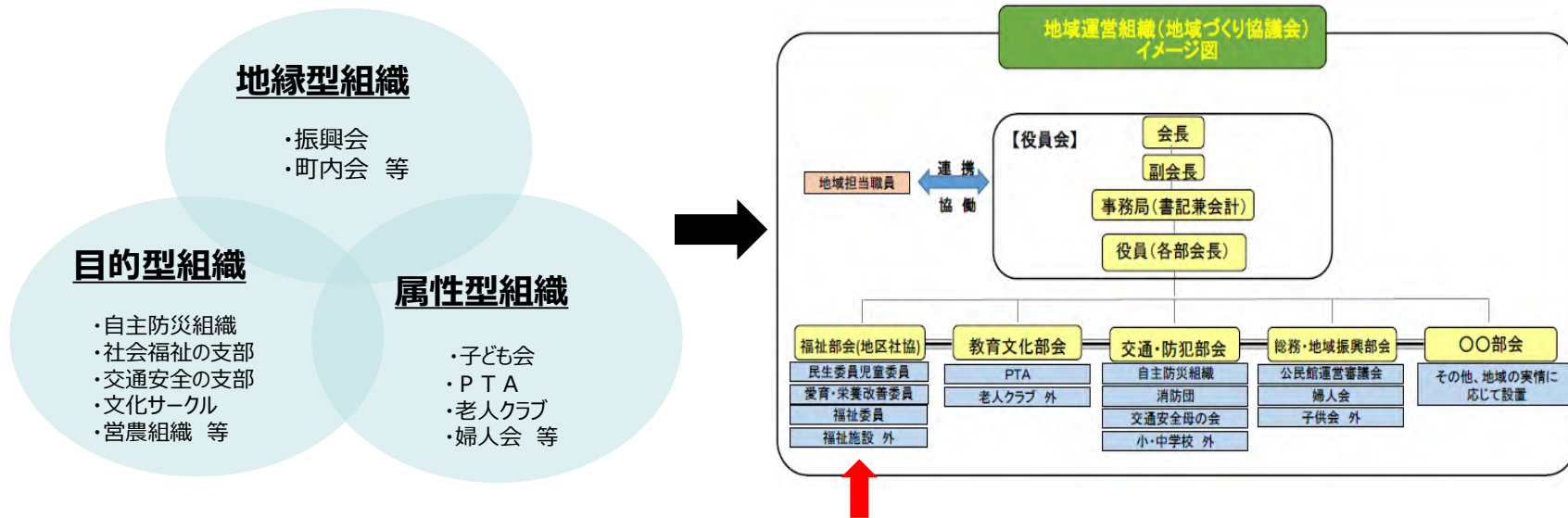
地域運営組織を設立

地域運営組織の設立

将来にわたって、住民が中心になった地域づくり(小規模多機能自治)を進めていくための地域を総括する代表機関を設立する。

【現在】 振興会や自主防災組織、福祉団体、老人クラブなど多様な団体の併存

【これから】 総力を結集した経営組織へ整理・統合

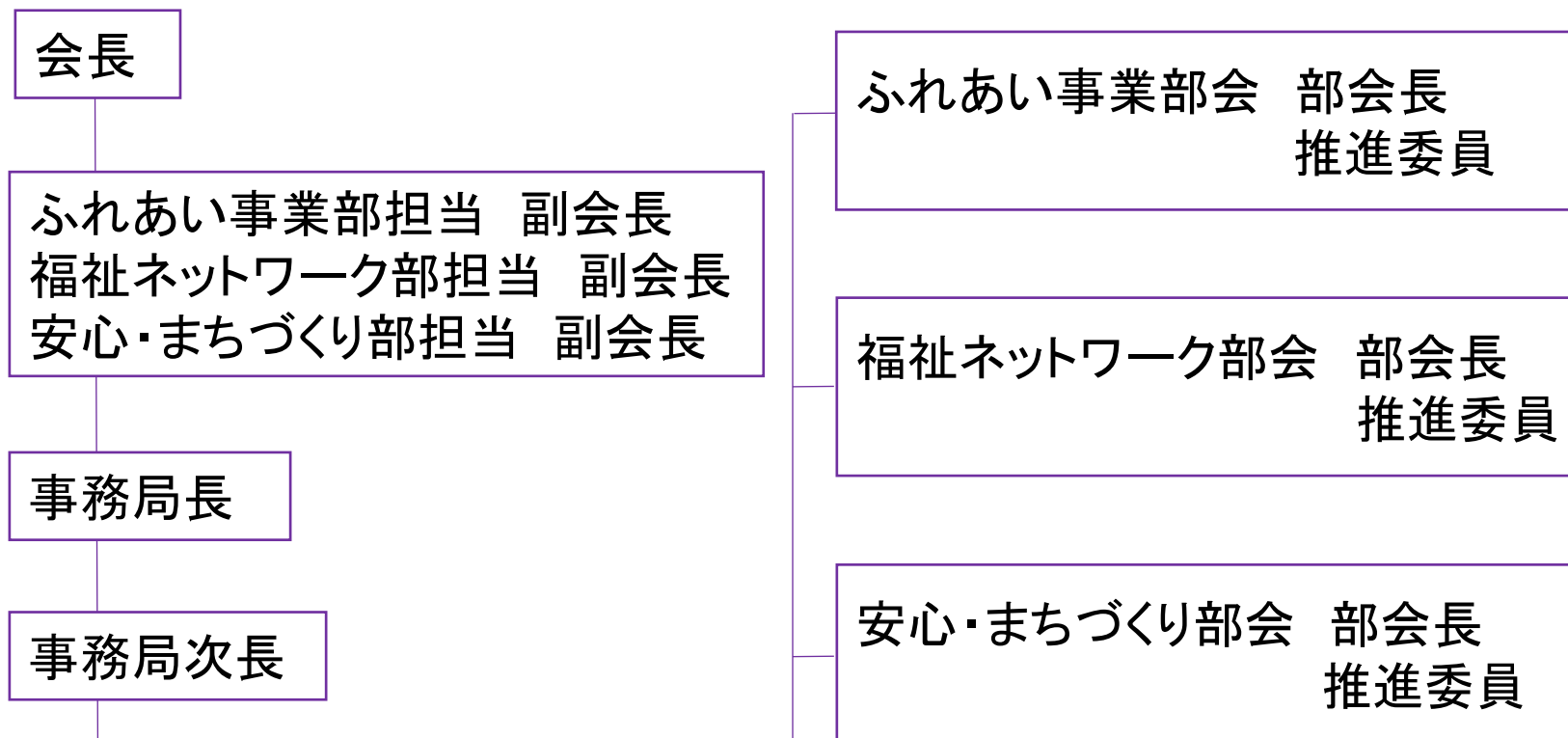


「小地域ケア会議」の機能を福祉部会が引き継ぐ
また、生活支援コーディネーターとも連携

3. 人口減少・高齢化における課題と施策の内容

(2) 自治体で特に力を入れて取り組んでいる施策の内容

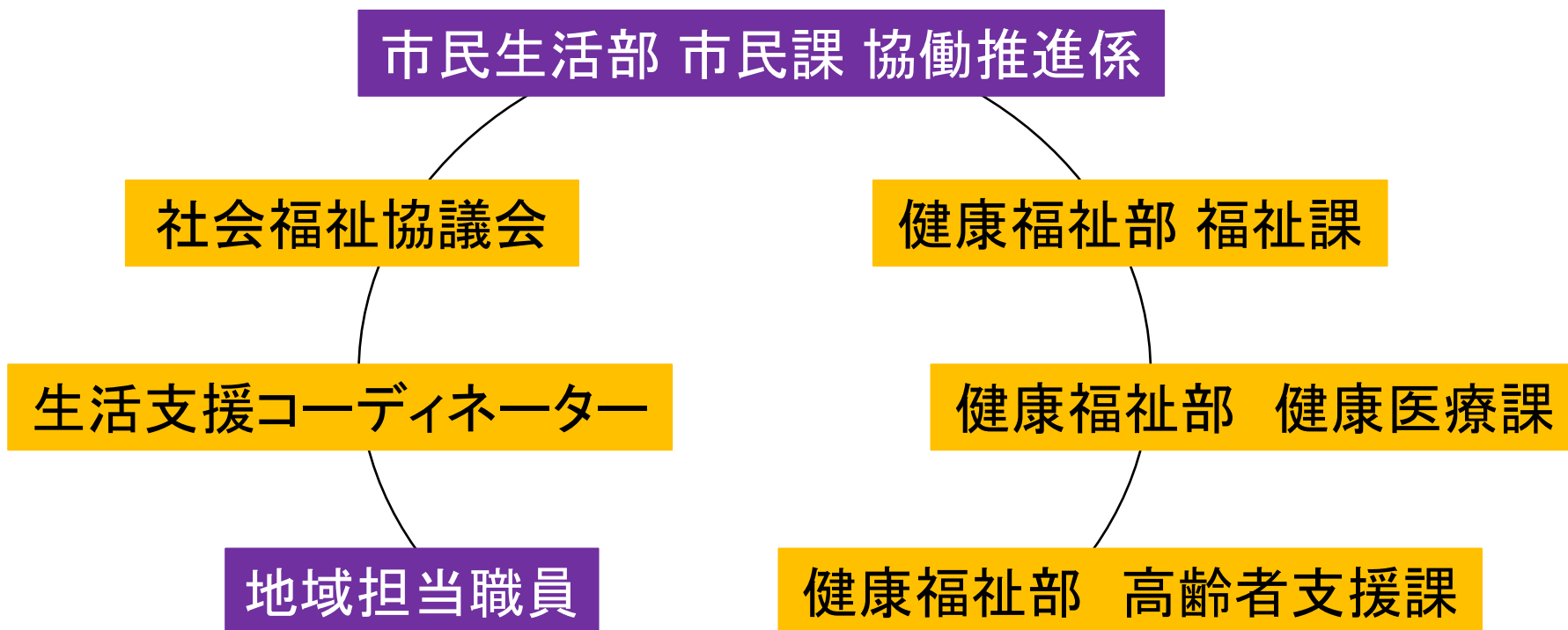
～A地区 地域運営組織～



3. 人口減少・高齢化における課題と施策の内容

(2) 自治体で特に力を入れて取り組んでいる施策の内容

③地域共生社会推進チーム



行政と地域とのパイプ役を担う。

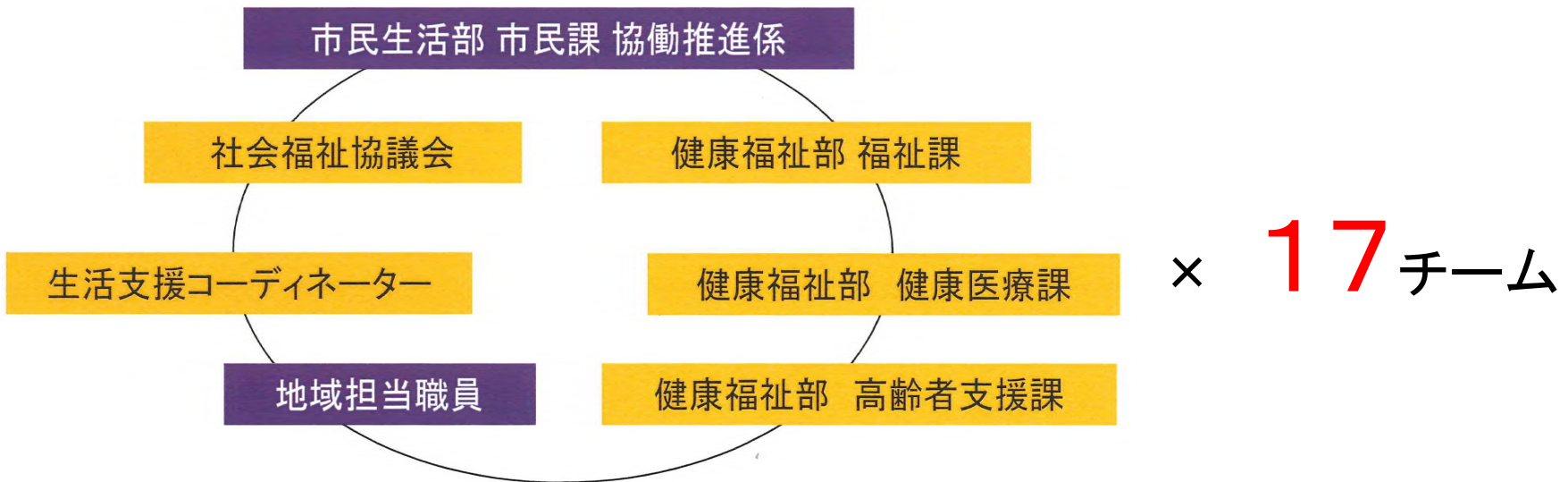
- ▶地域の会合への参加、情報提供や担当課との連絡調整
- ▶地域とともに、地域づくりの企画立案

3. 人口減少・高齢化における課題と施策の内容

(2) 自治体で特に力を入れて取り組んでいる施策の内容

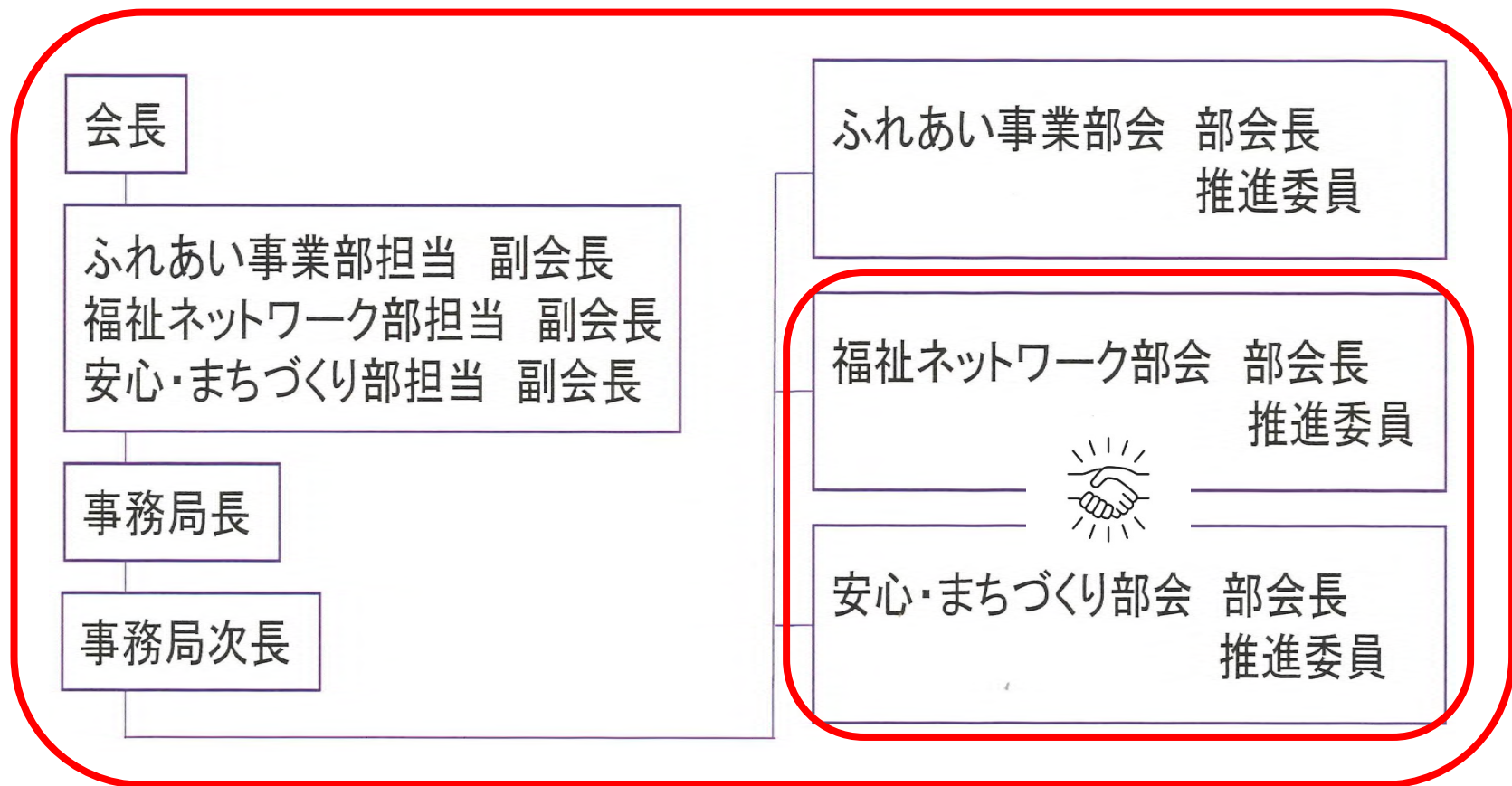
④ 小地域ケア会議の実施

＝ 第2層協議体



42の日常生活圏域

具体的な取組紹介



防災 × 福祉

ハザードマップ

住宅地図

1 番号を書いたシールを危険個所に貼る

避難する時、支援が必要と思われる方の家をマーカーで塗る

付箋にどんな危険があるのか書いて貼る

物品準備・会場準備・打合せ・司会進行・質疑応答・まとめ

全て、**地域運営組織**が実施

A: 今日、来られてない地区の人からは意見が聞けてないけど、どうする？

B: 全体完成を目指しているから、来てもらわないと完成しない

C: 来なかったら自分の地区が困ることになる

A: 参加しなければいけない会議にしよう

D: これって、最終的にどうするのか目標があった方がよくない？

A: いるいる

E: それに向かって、今どの段階かをみんなで共有しておいた方がいい

B: 今日の振り返りと、これからどうするか考えよう

F: 早いうちにまた集まろう



4. 医療・介護のサービス提供体制の維持・確保

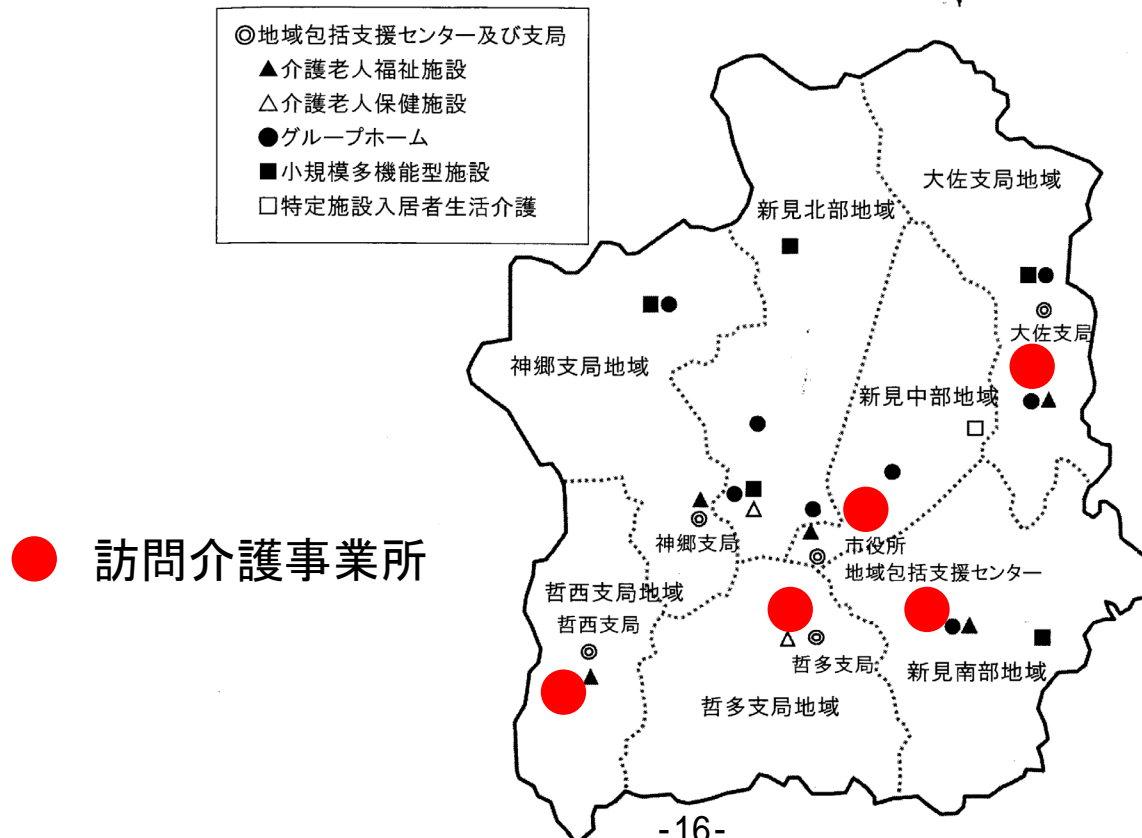
(1) 日常生活圏域におけるサービス提供体制の確保に関する現状認識

Wikipedia

新見市は面積の85%以上を山地が占める。

新見市の中心地は、新見盆地の中央の狭い平地に位置する。なお、市内全域が山間部

【日常生活圏域図】



4. 医療・介護のサービス提供体制の維持・確保

(2) サービス提供体制の確保に関する取り組みと今後の課題

介護職員初任者研修 (旧ホームヘルパー2級) 受講生募集

研修日程 令和7年8月26日(火)～令和7年12月23日(火)
(実習期間含む) ※詳細についてはホームページをご覧ください。

会場 新見市地域福祉センター 2階研修室
(新見市金谷640-1)

受講料 20,000円(テキスト代込)

定員 15名

対象者 新見市在住の方または新見市内の介護事業所にお勤めの方

申込方法 右の二次元バーコードから申請いただくか、住所・氏名・年齢・電話番号・お勤め先をご記入の上、FAXまたはEメールで下記までお申し込みください。
お申し込みはこちら

受付期間 令和7年7月1日(火)～令和7年8月8日(金)

新見市役所 高齢者支援課 介護保険係
〒718-8501 岡山県新見市新見310番地3
TEL:(0867)72-3148 FAX:(0867)72-1407
k-shien@city.niimi.lg.jp

新見市に住んで就職しよう!

新生活を応援! 移住・定住

従来の「ふるさと定住支援金」と「IJUターン就職奨励金」を統合し、移住定住奨励ポイントを交付します。

- 新規学卒者(中途含む) **10万円** ポイント/人
- IJUターン者 **20万円** ポイント/人

※市内または通勤可能な市外事業所に正規職員として新たに就職した方
※雇用開始から5年以上定住する意思のある方
※その他要件があります

▶ 移住・定住推進課 TEL:0867-72-6114

市内事業所へ就職しよう! 市内就職

市内事業所に新たに就職した方に就職奨励ポイントを交付します。

- 新規学卒者(中途含む) **30万円** ポイント/人
- IJUターン者 **10万円** ポイント/人

就職して1年経過ごとに10万ポイント(最長3年間で30万ポイント)

- ① 市内高校・特別支援学校、新見公立大学の新規学卒者 **10万円** ポイント/人

※市内事業所に正規職員として新たに就職した方
※雇用開始から5年以上勤務する意思のある方
※その他要件があります

▶ 商工観光課 TEL:0867-72-6137

最大110万円分

健康医療課

市内の医療機関に就職した看護師へ奨励金を交付します。

50万円/人

就職して1年経過ごとに10万円(最長5年間で50万円)

※満たしていただく要件があります

▶ 健康医療課 TEL:0867-72-6130

高齢者支援課

市内の介護事業所に就職した介護職員へ奨励金を交付します。

50万円/人

就職して1年経過ごとに10万円(最長5年間で50万円)

※満たしていただく要件があります

▶ 高齢者支援課 TEL:0867-72-3148

福祉課

市内の福祉サービス事業所に就職した福祉職員へ奨励金を交付します。

50万円/人

就職して1年経過ごとに10万円(最長5年間で50万円)

※満たしていただく要件があります

▶ 福祉課 TEL:0867-72-6126

新見市で 仕事をお探しの方 Uターン等をお考えの方 新見市IJUターン就職相談窓口 をご利用ください!

あなたの就職・転職・再就職に向けたアドバイスやご相談に対応します!
応募書類の書き方のアドバイスや、面接トレーニング等新見市内のIJUターン人材ニーズ情報の提供

こんな方は、ぜひご相談を!

市外在住者で新見へのIJUターン就職を希望する方

IJUターン人材の受け入れを希望する市内企業採用担当者の方

市内高校や大学の学生及び市外大学等に在学中で新見市へのIJUターン就職を希望する学生の方

IJUターン就職希望者の保護者及び家族の方

5. まとめ

持続可能な地域へ

- ・住民自らが主体となる「地域運営組織」を支援し、地域のニーズを地域で解決できる互助機能の強化。
- ・人的資源の限界を見据え、専門職以外の地域資源(多様な担い手)の発掘と活用。
- ・「地域共生社会推進本部」を中心にして関係機関の連携を強化し、複雑、多様化する課題の解決に取り組む。

